

## 今福線研究分科会 4年目の活動

木村 賢一

### 1. はじめに

今福線マップ作成に向かった今福線研究分科会の4年目の活動は、地域の方々との下長屋トンネルを中心とした現地調査、マップ(初版)の作成等を行いました。以下に、今年度の活動と成果について詳述します。

### 2. 今年度の活動および、成果

今年度の活動内容および、成果の概要を以下に整理します。

#### (1) 活動内容

平成25年度初回打ち合わせ(平成25年7月14日)

現地調査(平成25年12月7日)

#### (2) 成果

平成25年度中国地方地域づくり等助成事業に決定

今福線マップ(初版)の作成

### 3. 平成25年度 中国地方地域づくり等助成事業

一般社団法人中国建設弘済会による平成25年度の中国地方地域づくり等助成事業に今福線研究分科会の活動が選ばれました。中国地方地域づくり等助成事業とは、地域づくり等に取り組む意欲的なボランティア団体等を助成支援する事業です。

表.1 平成25年度中国地方地域づくり等助成事業

No.	事業名	団体等名称	事業箇所
26	旧国鉄今福線遺構(土木遺産)のPR活動	島根県技術士会	浜田市
27	「食の回廊」つくりを通した鉄の歴史村ツーリズムの演出によるサービス業の活性化	鉄の歴史村ツーリズム協議会	雲南市吉田町内
28	石見銀山ウォーキングミュージアム 竹林整備と竹の杖づくり	NPO法人 緑と水の連絡会議	大田市大森町(世界遺産石見銀山)

### 4. 現地調査(平成25年12月7日)

今年度の調査は新線の下長屋トンネル(L=1663m)の内部調査を主目的とし、下長屋トンネル～新線と旧線が交差する第二下府川橋梁区間の現地調査を行いました。

島根県技術士会12名の他に、浜田市佐野町在住の石本氏、「雲城まちづくり委員会」の川上会長、毛利氏、および、「今福地区まちづくり推進委員会」の田邨氏を含めた計16名で調査しました。

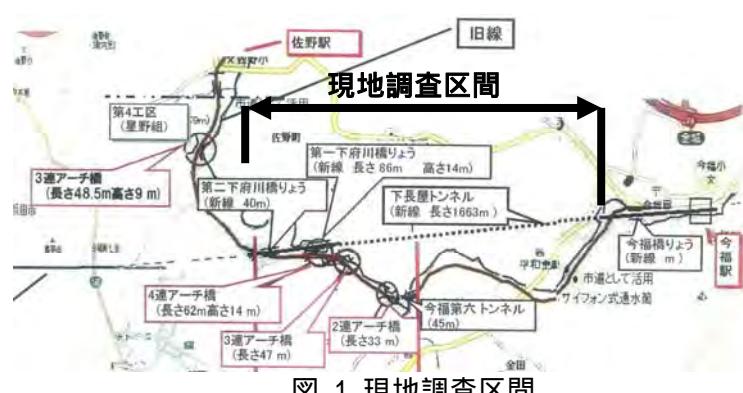


図.1 現地調査区間

昭和 50 年 8 月 28 日に完成し、38 年が経過する下長屋トンネルの内部は、劣化しており、部分的に湧水がありました。また、トンネル途中で起点側幅員  $W=3.55\text{m}$  から  $2.60\text{m}$  に縮小するなど新たな発見がありました。



写真.1 トンネル内部



写真.2 幅員変化(起点から終点側方向)

## 5. 今福線マップ(初版)



図.2 今福線マップ 4枚中のうち 4枚目(佐野駅～今福駅) 素案段階

6 . おわりに

平成25年度の中国地方地域づくり等助成事業の利用により昨年度と比べ、今福線のマップの品質は格段に向上了しました。しかし、今年度作成した今福線マップは完成型ではありません。地元の意見を十分に反映していません。また、島根県技術士会HPに掲載することにより様々な意見を募ることで第二版、第三版へと随時更新していきたいと考えています。

今後は今回現地調査に参加いただいた「まちづくり委員会」等の地元の方々と協力し、今福線の認知度向上に寄与すべく今福線マップ完成を目指し、引き続き活動したいと考えます。

- 以上 -